

長谷川シャッターの シャッター安全ニュース

こんにちは。
長谷川シャッターの長谷川利敦です。
今回は『機械メンテ』についてお話を
したいと思います。

弊社の工場には「シャーリング」という
鉄板を切断する機械があります。

「シャーリング」は創業から50年に
わたって使用されており、シャッターで
使うガイドレールやケースなどを作るのに
とても重要な機械です。

ある日、弊社でシャッターの製造をしている
長谷川和人がレールを作ろうとした時の
ことです。「シャーリング」のモニターの
ボタンを押しても反応せず、機械が動かなく
なってしまいました。「シャーリング」が
動かないとシャッター屋の弊社は深刻な
事態になってしまいました。

この機械を製造したメーカーに相談して
みたところ、「古すぎて部品がないので、
お取り扱いできません」と修理を断られて
しまい、大変困っていました。

この機械は今も亡き先代の会長が大切に
使っていた機械で、私もとても思い入れが
ある機械なので手放すのは心残りです、何とか
修理できないかな…と思っていたところ、
製造したメーカーさんが修理をお願いできる
会社を紹介してくれました。

早速連絡をして、後日修理会社に見に来て
もらうと、「このモニターとバックゲージは
うちでも直せますよ」と言っていただけ
修理をしてもらいました。



『不可能』を『可能』に… お任せください!!

第52号

最初に製造したメーカーで修理ができないと
言われたときは、買い替えを考えるしかないと
ヒヤヒヤしましたが、何とか修理することが
できて大変うれしく思いました。
金額的にも10分の1の値段で済み、
長谷川シャッターにとって大切な機械を
引き続き使用できることが私にとって
何よりもうれしく思いました。

皆さんの会社で使用している機械も、
もし不具合が出て修理に困っていたら、一度
長谷川シャッターにご相談ください。
貴社に適切な修理業者を紹介できるよう
尽力いたします。
お気軽にご相談ください。



シャーリング



長谷川シャッター工業株式会社
〒510・0103
三重県四日市市楠町北五味塚337番地1
TEL: 059・398・3311(代表)
059・397・3311(緊急修理用)
FAX: 059・398・3312
メンテナンス担当 長谷川 利敦・長谷川 達智
端野 剛・津田 哲
内山 佳典
坂倉 敏・長谷川 和人
高橋 満



こんにちは、
長谷川シャッターの長谷川和人です。



春先は風が強く吹くことがあります、シャッターに思わぬトラブルが起きやすい季節です。

そこで今回は、そんな強風からシャッターを守る便利なアイテム「シャッターガード」をご紹介します！

【シャッターガードって何？】

シャッターガードは、シャッターが風で揺れたり外れたりしないように、既設のシャッターに取付けて伸縮する「門（かぬき）・筋交い」として機能させ、耐風圧強度を高める補強材です。特に風の強い日にはその効果を実感でき、普段から設置しておくことで急な変化にも安心して備えられます。

【強風で起きるシャッターのトラブル】

春先の強い風で、二連の自動シャッターが外れてしまった事例がありました。原因は、突風の強い風圧と、中間レール（方立）の下部にある「落とし金」がきちんと固定されていなかったことにありました。レールからスラット（鏝）が外れてしまうと、バタバタと揺れて手が付けられない状態になります。さらに、スラットは1ミリ程の厚みがあるため、あたると怪我をする危険性もあります。そのような時にシャッターガードが設置されているとスラットが固定されてレールから外れることがなくなります！

中間レールの落とし金の固定をお忘れなく！



シャッターの救世主『シャッターガード』



シャッターは災害に対して意外にもろく、風速15メートルほどでも壊れてしまうことがあります。修理代がかかってしまったり、場合によってはシャッターごと交換なんてことにもなりかねません。さらに防犯対策としても最適です。

【シャッターガードのおすすめポイント】

- シャッターの強度をアップし、工場・倉庫内の大切な製品を風雨から守ります！
- シャッターの破損による修理代や交換費用など思わぬ出費を抑えられます！
- 防犯対策としても効果的！

シャッターガードには小型・中型・大型タイプがあり、シャッターの開口・高さに合わせて施工可能です。

小型タイプは、工具不要で簡単にご自身で設置することが出来ます。

中型や大型タイプは工事が必要になってくる場合もあるので、まずはご相談ください。



このように内側からシャッターを支えます！



長谷川シャッターのこ・ぼ・な・し

弊社で工事を担当しているベトナム出身のAが結婚式を挙げるために故郷のベトナムに一時帰国しています。先日Aから結婚式の動画が届き、幸せそうな笑顔にみんなほっこりしています。

でも、ひとつ気になることが...

これまでベトナムに帰った仲間は、故郷の美味しい料理とお酒を堪能して”ふっくら”して戻ってくる傾向があるんです。

果たして今回はどうなるのか？！

Aの帰国後の姿をお楽しみに～♪

